

いつかは誰でもこの星にさよならを
する時が来るけれど命は継がれてゆく

(Mina-bi 作詞『うちの歌』より抄出)

先祖の魂を受け継いで自分がここに
いることを実感する歌である。

卒業式で子ども達とともに歌い上げた思い出の
メロディーが蘇って来る。

氏名(大久保扶美子)